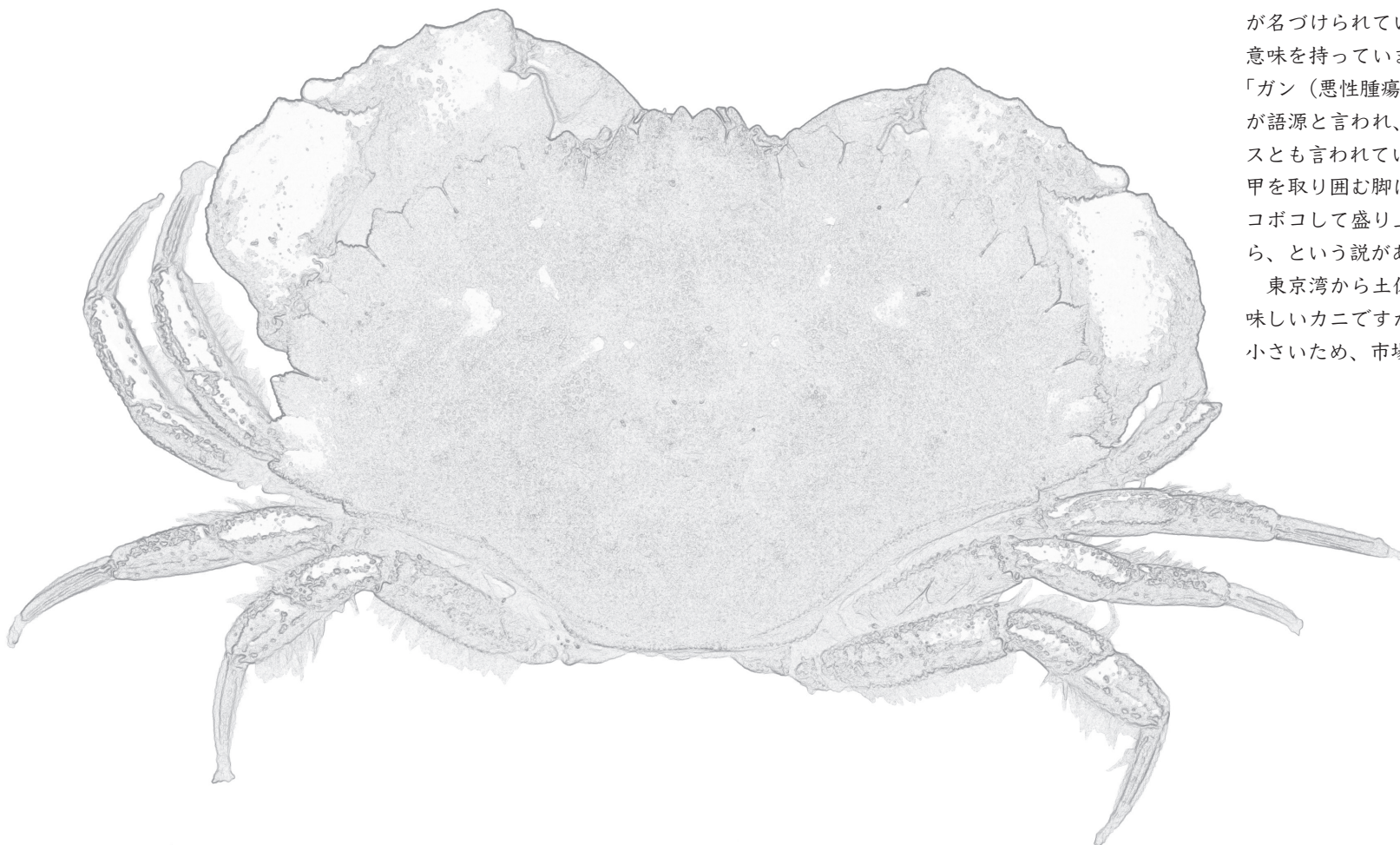




生命の星・地球博物館の標本 de めりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。



イチョウガニ

Cancer japonicus Ortmann, 1893

KPM-NH0105017

甲のかたちがイチョウの葉に似ていることから和名が名づけられています。学名は「日本のカニ」という意味を持っています。英語の「cancer」という単語は「ガン（悪性腫瘍）」を指しますが、この言葉は「カニ」が語源と言われ、名付け親は「医学の祖」ヒポクラテスとも言われています。腫瘍を取り囲む無数の血管が、甲を取り囲む脚に似ているから、という説や、甲がデコボコして盛り上がっている様子が腫瘍に似ているから、という説があります。

東京湾から土佐湾にかけて分布しています。大変美味しいカニですが、漁獲量が少ないことと、サイズが小さいため、市場にはほとんど出回りません。



【ポイント】甲には盛り上がった部分があり、甲全体が顆粒で覆われています。脚には剛毛が列生しています。顆粒の質感を表現するのが難しいかもしれません。



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History